

《青年部会からのメッセージ》

日頃より、当青年部会の活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、我々青年部会は社会貢献活動を事業活動の大きな柱の一つとして活動しております。

その一環として、チャリティー洗車キャンペーンを実施し、その収益金を公益財団法人沖縄県交通遺児育成会に寄付しており、これまで16回のチャリティーキャンペーン等で、総額191万円を寄付致しました。

(公財)沖縄県交通遺児育成会は、交通事故で死亡または重度後遺障害となった保護者を持つ子ども達に対し奨学金や育成金を給付し、希望と勇気を与えております。令和5年度は奨学・育成金並びに激励金として48人に総額410万7,352円を給付しております。

当業界は自動車関連事業を運営していることから、交通遺児に深く関わっているものと認識しており、沖縄県交通遺児育成会の活動に微力ではありますが、今後も引き続き支援して参る所存です。

今年で第17回目となるチャリティー洗車キャンペーンを来る10月1日から1月間、県内118ヶ所のSSで実施致します。今回もチャリティーに合わせ洗車をして頂きましたお客様に抽選で「県内ホテルペアランチ券」や「ガソリンギフト券」総勢472名様に当たるキャンペーンとなっておりますので、キャンペーンのノボリ、ポスター掲示のガソリンスタンドで期間中洗車をして頂き、どしどし応募して頂ければと思います。

末筆ながら、今後とも、当青年部会の活動にご理解、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

令和6年9月

沖縄県石油商業組合青年部会
会長 嘉手川 彦

交通遺児育成に10万円 県石油商業組合青年部会

県石油商業組合青年部会(嘉手川彦会長)は10日、10月に実施し

た「第16回チャリティー洗車キャンペーン」の売上金の一部10万円を県交通遺児育成会(船越龍二理事長)に寄付した。同キャンペーンは交通遺児支援チャリティーと

して毎年実施している。

八重瀬町の県石油会館で行われた贈呈式で嘉手川会長(写真前列右から2人目)は「116カ所の加盟給油所のお客さまに協力いただいた。子どもたちが県外派遣に参加するといった、新しいことにも挑戦してほしい」と話した。

